



頂のその先へ… 四冠への挑戦!

左から落合選手・霧下選手・大橋選手



東

京オリンピックホッケー競技男子に、市ゆかりの選手として、市を拠点にするホッケーチーム

「リーベ栃木」の「大橋雅貴選手」

「落合大将選手」「霧下義貴選手」

「村田和麻選手」、市出身で天理大の

「永吉拳選手」の5名が出場しました。

また、リーベ栃木は、昨年12月5日、今市青少年スポーツセンターで行われた日本リーグ男子1部最終ステージ決勝戦を制し、リーグ参入7年目で初優勝の快挙を果たしました。

昨シーズンの勢いによって、4月9日(土)に開幕する日本リーグに臨む市在住のリーベ栃木の

大橋選手、霧下選手の3名に話を伺いました。

大橋：南原小で2歳上の兄がやっていたことと、友達からの誘いもあり、小学2年生から始めました。その後、大沢中、今市高校と日光市でホッケーを続けました。

ホッケーを始めたきっかけ?

大橋：南原小で2歳上の兄がやっていたことと、友達からの誘いもあり、小学2年生から始めました。

その後、大沢中、今市高校と日光市でホッケーを続けました。

落合：見ていて楽しそうやってみたいと子ども心に思っ

いたところ、仲が良い友達から誘われて、地元むらたかの島根県で小学3年生から始めました。

霧下：大橋選手と同じように2歳上の兄がホッケーをやっていたことから、地元むらたかの奈良県で中学1年生から始めました。

社会人でホッケーを続けようと思ったのはなぜ?

大橋：東京五輪や栃木国体などが目前にあったことと、大学4年時にリーベ

栃木が発足したこともあり、地元でも高いレベルでホッケーを続けられる環境があったからです。

落合：東京五輪に日本代表として出場したいという気持ちがありました。大学4年時から日本代表に選出されていたこともあり、その思いは強かったです。

霧下：大学を卒業してからも、強いチームで上を目指して競技を続けたいという思いがあったからです。

リーベに入団を決めた理由は?

大橋：日光市出身なので、ホッケーの魅力魅力を地元から発信していきたい、また、育ってきた場所場所で恩返しをしたいという気持ちから入団を決めました。

落合：中学から大学まで、「日本一が当たり前」と言ってもいい環境でプレーをしてきました。加入当時のリーベは決して強いチームではなく、だか

らこそ、新しい環境で強いチームづくりに貢献したいと思ったからです。霧下：日本一になりたいという気持ちからです。自分が学生時代にリーベと対戦したときにとっても強く、将来はこんな強いチームでプレーしたい、と感じていました。

ホッケーの魅力は?

大橋：まず、スピード感です。オフサイドがないため、スピード感のある試合展開が続きます。選手交代も自由なため、常に元気な選手がフィールドを動き回っている点も魅力の一つです。

落合：ロングシュートがない(サークルと呼ばれるゴール付近の半円の中からシュートを打たないと、得点とみなされない)ため、サークル内の最終局面での攻守の駆け引きがとてもスリリングです。

霧下：スティックの片面しか使えないルールがあるため、ホッケーならではのボールさばきのテクニクを磨くのが面白いです。

東京五輪出場への感想は?

大橋：大会では勝つことができませんでしたが、悔しかったのですが、全試合を楽しんでプレーすることができました。また、無観客試合でしたが、SNSなどを通して、「これだけ多くの方に支えられているんだ」と実感することもできました。

大橋：大会では勝つことができませんでしたが、悔しかったのですが、全試合を楽しんでプレーすることができました。また、無観客試合でしたが、SNSなどを通して、「これだけ多くの方に支えられているんだ」と実感することもできました。

リーベ栃木のチーム情報や試合情報などについて、詳しくは右のQRコードからご覧ください。



落合：無観客試合で残念でしたが、五輪という、憧れでもあり、夢でもあった舞台でプレーできて幸せでした。結果が出せなかったのですが、甘かった部分もあったと振り返っています。
霧下：負けたことはとても悔しかったので、自分のすべてを出し切ろうとプレーをしました。通用した部分とそうでない部分があったので、今後の練習や競技生活に生かしたいです。



五輪に出場した市関係5選手(左から霧下・大橋・村田・永吉・落合選手)

🍀 リーグ優勝の感想は？

大橋：負けている状況から、土壇場で相手に追いついたすごい試合展開でした。2020年は同じような試合展開の末に負けていたので、「やっ」と優勝した！ やり遂げた！という気持ちでした。優勝は、ずっと目標に掲げていたことの一つだったので、「ようやく」という気持ちが強かったです。

落合：内容が良くても最後に勝てないことが多かったので、大橋選手と同様に、「やっと勝った」という、ほっ

とした気持ちが強かったです。また、地元ファンや支えてくれた方の目の前で、優勝する場面を見せられたこともよかったです。

霧下：自分は大橋選手や落合選手ほど長く在籍しているわけではないですが、初優勝に貢献できてうれしかったです。それと同時に、ここで慢心してはダメだとも思いました。

🍀 自分の見てほしいプレーは？

大橋：デيفェンスです。1体1などの対人の場面では激しさを出していきます。相手の攻撃は身をていして防ぎにいきます！

落合：チームのバランスをとれるようにしています。試合展開を読んで動くことを意識しているので、動き方に注目してほしいです！

霧下：デيفェンスやセットプレーです。セットプレーでは、シューターとして得点をとることも意識していますし、守備面では相手にプレッシャーをかけるためにも体を張っています！

🍀 今後の目標は？

大橋：日本リーグ連覇と栃木国体優勝です！ 年齢的にも、よりチームのことを考えて、技術・戦術的な部分などを周囲に伝えていきたいです。

落合：4タイトル(全日本ホッケー選手権大会、日本リーグ、国体、全日本社会人ホッケー選手権大会)を獲ります！ いずれは、リーベのホッケーが

日本中の子どもたちからの憧れとなるように、1試合1試合を大切に戦っていきたいです。

霧下：リーベには上手な選手がたくさんいるので、よくコミュニケーションをとって、いろいろなことを吸収していきたいです。そして、いつかチームを引っ張る選手になります！



♥ インタビューを終えて

リーグ優勝の感想を聞いたところ、落合選手がその喜びと同時に「現状に満足せず、来年度は圧倒的に勝つ！」と答えてくれたことが印象的でした。リーグ初優勝を果たした後も、さらなる強さを目指そうとする姿勢に、チームの今後の活躍を期待させられました。

大橋選手、落合選手、霧下選手をはじめとするリーベ栃木の選手の皆様、ありがとうございます！ 皆さんも一緒に日光市のホッケーを盛り上げていきましょう！！

